

実践①

「フェアトレード商品」

板野町役場産業課
中磯友花

平成三十一年四月



👑 エシカル消費

人・社会への配慮 → 誰かのために → フェアトレード商品を選ぶ

皆さん、今日は、板野町でエシカル消費の推進をしている「中磯さん」のお話を聞いてみましょう。
中磯さんは、『フェアトレード商品』の購入を実践しているそうです。それでは、よろしくお願いします。

はじめまして、中磯です。私は、板野町でエシカル消費の推進をしています。エシカル消費と出会ったきっかけは、約2年前、徳島県主催の講演会に参加したことでした。

私がエシカル消費をする上で大切にしていることは、私たちが住んでいる地球や社会、どこかの誰かへ『ちょっぴり幸せを贈る』という気持ちです。それは、買い物をするとき、**ちょっぴり幸せを贈るという気持ちを持つことが、エシカル消費の原点**だと思うし、何かを想う気持ちは自分自身も幸せな気持ちになるからです。

私は、エシカル消費を知り、特にフェアトレード商品を買うようになりました。それは、開発途上国では、低賃金で劣悪な労働環境のなか働いている人がいたり、幼い子どもたちが学校へも行けず働いている現状に胸が痛んだからです。でも、それと同時に、遠い国の私たちでも、フェアトレード商品を買うことで、ちょっぴり幸せを贈ることができる、ということも知りました。だから、自分へのご褒美チョコを買うときは、フェアトレードのチョコを選んだり、他にも、フェアトレードの小物（開発途上国の女性が手作りしたもの）なども買っています。

フェアトレード商品は、まだ目にする機会は少ないですが、インターネットで調べてみると、意外とたくさんのものであるので、皆さんも調べてみてくださいね。

中磯さん、ありがとうございました。たしかに、何かを想う気持ちがエシカル消費の原点ですね。

来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

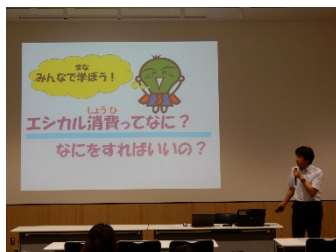
お問い合わせ 役場産業課 ☎ 672-5994

【ひとくちメモ】

※フェアトレード商品…開発途上国と適正な価格で持続的に取引し、労働環境や地球環境に配慮していると認められた商品のこと。

徳島県の取り組み

平成30年8月26日(日)、「みんなで学ぶ！エシカル教室」と題し、生産から食卓に並ぶまでの流れを体感する教室を開催。①エシカルを学び(講義) ②実際にお店を訪れ、フェアトレードなどの様々な認証マークを探し ③エシカルな農産物を活用した料理を頂き、みんなでエシカル消費を学びました。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

ある日の先生

平成最後の4月。
気張りすぎたのか!?
新学期は何か疲れる💧
こんなときは、原点
にもどって、チョコ
を買いに！急げー!!!

